

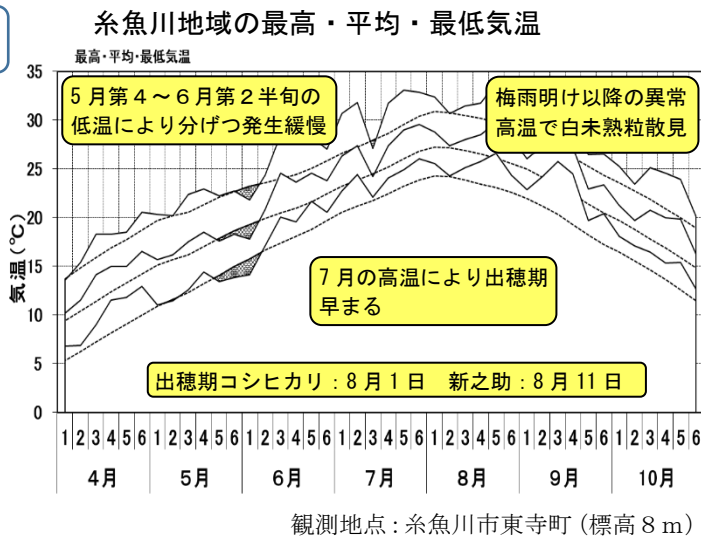
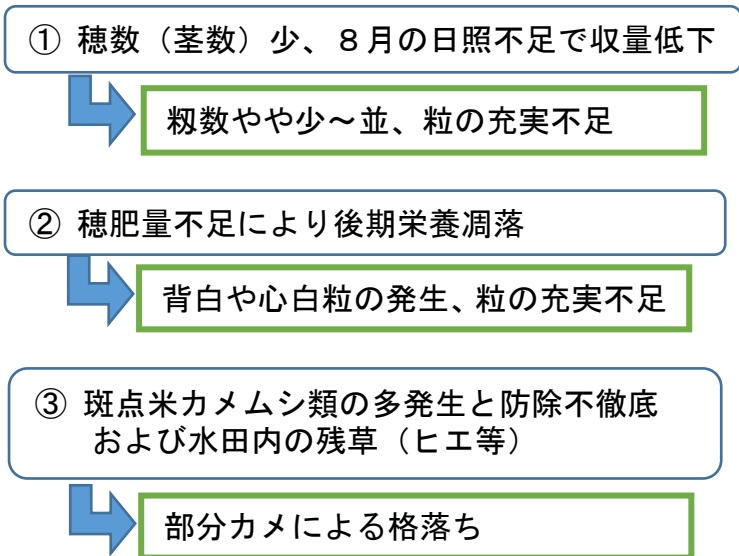
**令和6年度の振り返りを行い、次の作付の計画を立て始めましょう！**

**1 令和6年度の稲作総括（コシヒカリ）**

**(1) 収量・品質の状況**

- ・コシヒカリの1等級比率は85.8%（ひすい営農センター管内・11/30 現在）と目標の90%は下回ったものの前年から大きく回復しました。（参考：R5 JAひすい22.3%（11/28 現在））。主な等級落ちの理由は、高温の影響による ①除青未熟、②部分カメ、③背白でした。
- ・作柄は「やや不良～並」で、コシヒカリの平均収量は460kg/10a（振興局調）となりました。

**(2) 収量・品質に影響した主な要因**



**(3) 等級落ち理由と発生要因 ～検査結果のハガキやお米の通信簿を見て、管理を見直してみよう～**

理由	米の状態	発生要因	作業改善の方向
除青未熟	充実不足の米(やせ米や溝が深い米)や白未熟粒が多い等の複数の理由	高温、後期栄養不足、登熟後半の水不足などの要因が合わさって発生	土づくり、出穂25日後までの飽水管理、穂肥増量、適正な籾数の確保（適期中干し）
部分カメ（斑点米）	米粒に斑点米カメムシ類による食害が見られる	カメムシの発生量が多、薬剤防除が不十分、草刈りの不徹底、本田内イネ科雑草の残草	畦畔・農道の草刈りの徹底、適期防除、本田内雑草の防除の徹底、色彩選別機の利用
白未熟粒（背白）	米粒の背の部分が白く濁った米（胚のない側の縁）	出穂後20日頃の高温によりデンプンの詰まりが悪くなり白濁する	出穂期を遅らせる、穂肥増量(後期栄養維持)、出穂25日後までの飽水管理、フェーン時の入水

※上記以外では、肌ずれ、胴割粒が一部で見られました。

**(4) 農業者の声～アンケート結果より～**

- 秋作業を優先した強めの中干しにより茎数が減少し、穂数が少なくなった。
- 含鉄資材を施用したほ場では、しないほ場に比べ、生育量（穂数）が確保された。
- 変動気象の影響が増大しており、多様な品種の組み合わせによるリスク分散を検討したい。

## 2 令和7年度の稲作に向けて ～来年こそは目標達成しよう～

目標 コシヒカリ 1等級比率：90%以上、収量：480kg/10a以上

### 重点技術対策

○高温に対応するため適正籾数の確保と後半まで活力のある稲体づくりを目指すとともに、適切な防除と雑草管理で斑点米の発生を防ぎましょう。

#### ① コシヒカリの適期移植 ～出穂期が早くならないように～

- ・高温登熟を避けるため、平坦部では出穂期が8月3日頃となるよう5月15日頃に田植えを行いましょう。
- ・老化苗とならないよう、田植え時期を考慮して適期に播種しましょう。
- ・初期生育を良くするために健苗を移植しましょう。

#### ② 適期中干しによる過剰生育防止 ～小ヒビが入る程度のちょうどよい中干し～

- ・田植え1か月後をめやすに中干しに入り、過剰な茎数を抑制しましょう。
- ※中干しを適期にしっかり行うことは温室効果ガス発生抑制効果にもつながる。

#### ③ 中干し後の気象に対応した水管理 ～「水稻」と言うだけあって水が肝心！～

- ・登熟がおおむね完了する出穂後25日頃までは、ほ場水分を保ちましょう。なお、用水が確保できるのであれば、可能な限り遅くまでかん水しましょう。
- ・特に高温年は飽水管理での稲体ストレスの軽減が大切です。

#### ④ 後期栄養確保を目的とした穂肥対応 ～倒さないためにも「2回目」重視！～

- ・特に出穂10日前頃の「2回目穂肥」を確実に行きましょう。登熟後半まで籾に栄養を送るためには十分な量の穂肥が必要です。
- ・葉色の状況を見ながら、必要に応じて3回目穂肥や全量基肥での追加穂肥を実施しましょう。

#### ⑤ 適期収穫・適正調製 ～適期・適正に作業を実施し1等米に仕上げる！～

- ・高温年は刈遅れないように積算気温950℃(コシヒカリ)で収穫しましょう。特に異常高温の場合は必要に応じてさらに前倒しで収穫する場合があります。

#### ⑥ 土づくりと根域の確保 ～稲の生育を支える「基礎体力」を向上させる！～

- ・土づくりを継続的にしているほ場では、異常気象時の品質・収量低下が少ない傾向です。土壌分析を行い、不足している養分を補いましょう。
- ・ケイ酸施用は根の吸水力が上がり、高温時の品質低下を防ぎます。また、鉄を含んだ資材はワキの発生を抑え、根を健全に保ちます。
- ・根が張れる範囲を広くすることで、根量も増え、高温に耐えられる稲になります。

### カメムシ類による斑点米の発生防止

- ・畦畔、農道の草刈りを徹底するとともに、中後期除草剤により本田内の残草を減らしましょう。
- ・出穂期頃の薬剤防除を実施し、必要に応じて色彩選別機を活用しましょう。

### 『収量・品質向上！糸魚川産米』

お問い合わせ先

えちご上越農業協同組合(ひすい営農センター)  
糸魚川NOSA Iセンター  
糸魚川地域振興局農林振興部(農業普及指導センター)

TEL 0120-640-184  
TEL 0120-916-406  
TEL 553-1906